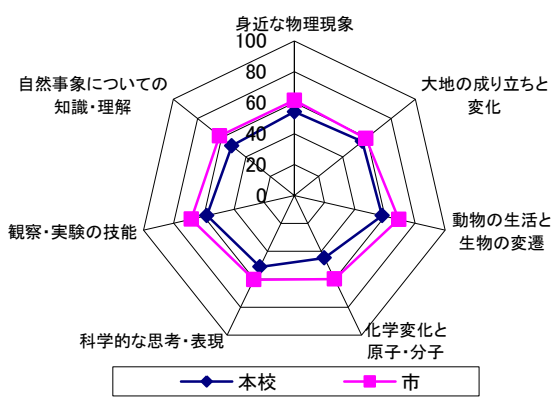


宇都宮市立国本中学校 第2学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	身近な物理現象	54.1	61.6
	大地の成り立ちと変化	56.1	59.1
	動物の生活と生物の変遷	58.2	69.2
	化学変化と原子・分子	44.7	59.8
観点別	科学的な思考・表現	51.1	60.3
	観察・実験の技能	58.0	68.3
	自然事象についての知識・理解	51.7	61.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
身近な物理現象	昨年と同様で、市の正答率を下回っている。大気圧による身近な現象などは理解しているが、圧力を変化させる要素や、圧力を求める式をつくるなどの、定量的な考え方が身についていない。	計算問題や定量的な考えをする事項にも意欲を持って取り組むように指導したい。
大地の成り立ちと変化	火山の形とマグマの関係や地震計の記録などは理解されているが、造岩鉱物の種類を推測することや、地層ができるようすを推測するなど、事象を推測する力が不十分である。	いくつかの事柄から現象を推測するような、筋道だった考え方ができるように指導したい。
動物の生活と生物の変遷	昨年と同様で、市の正答率を下回っている。動物のなかま分けは理解しているが、多細胞生物の細胞のはたらきや、だ液のはたらきを文章で説明する表現力が不十分である。	定期テストなどにおいて、短文で表現する設問により、表現の能力を訓練したい。
化学変化と原子・分子	昨年と同様で、市の正答率を下回っている。実験を安全に行う注意事項は理解しているが、化学式や化学反応式を正確に記憶することが不十分であった。	繰り返し練習することで、基礎基本となる知識を確実に記憶するように指導したい。